

安来市における森林環境譲与税の活用状況について（令和5年度末現在）

■これまでの活用状況

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	66,723,300	35,060,000	101,783,300	73.4%	林業人材育成拠点の整備、林業DXの 推進、林業産官学連携などの実施
譲与額（円）	103,614,000	35,060,000	138,674,000		

■令和5年度における具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理制度の推進	1,686,300	1,686,300	市町村の行う新たな森林管理システム推進のため島根県が設置する支援組織に対して事務委託を行った。
	林業DXの推進	107,560,000	3,887,450	市内全域における航空レーザ計測により森林情報をデジタル化し、林業のデジタル・トランスフォーメーション（林業DX）の推進を図った。
	地域林政アドバイザー	4,000,000	4,000,000	島根大学の学術技術指導制度を活用して、地域林政全般において大学の専門的な知見を活用した。
	林業事業体等への補助	18,444,000	18,444,000	林業事業体による高性能林業機械や路網の整備、人材育成その他森林整備の推進に係る補助金交付を行った。
人材育成	林業人材育成拠点の整備	4,895,000	4,895,000	市内の私有林を市有林として取得し、林業人材育成拠点として整備するための基本設計を行った。
木材利用	市産木材利用への補助	819,000	819,000	市産木材を使用した住宅の新築等に対して補助を行った。
普及啓発	林政広報番組の制作	1,328,250	1,328,250	地域のケーブルテレビにおいて森林環境譲与税の趣旨や活用状況等に関する番組を製作・放映し、森林整備の重要性等について市民の理解促進を図った。
基金積立		0	0	安来市森林環境整備基金への積立金
合計		138,732,550	35,060,000	

■今後の実施計画

①林業人材育成拠点整備事業

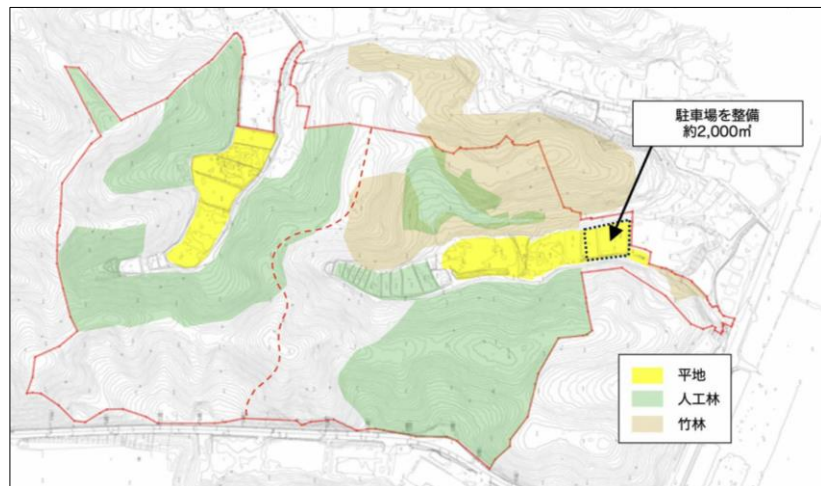
林業従事者の育成並びに技術力の向上、林業の担い手確保のため、新たに取得した市内山林12.4haにおいて林業人材育成拠点を設置します。令和8年度からの供用開始に向け、令和7年度に進入路の道路改良及び駐車場設置等の工事を行います。

- ・令和7年度 工事費見込額 90,000千円
(うち森林環境譲与税 9,000千円)

●林業人材育成拠点とは

拠点全体を「次世代の森林づくりモデル林」を形成する場と位置付け、森林組合や大学との連携によりモデル林整備を進める中で、新たな造林技術等の試行・研究などの取り組みを通じた総合的な林業の人材育成に繋げることを目指すもの。

【林業人材育成拠点 平面図】



②林業産官学連携事業

大学や高専、民間企業との連携により、森林整備に関する研究や、木材流通及び木材用途拡大に関する研究及び実証を行います。

- ・令和6年度実績：4,000千円
(うち森林環境譲与税 4,000千円)

③荒廃農地活用造林地形成事業（補助事業）

林業事業体等による荒廃農地を活用した林産物の増産を目的とする事業を支援するため、事業開始から10年間までの事業経費（地拵え、人工造林、保育に係る経費）に対して総額1,000万円、単年度300万円を限度に補助します。

- ・令和6年度認定計画：1件
(事業期間：8年間)



④針広混交造林事業（補助事業）

生物多様性や土砂流出防止などの公益的機能を高める効果が期待される針広混交林の育成を推進するため、針広混交植栽による人工造林とその育成を行う試験的な取組について、定額で補助します。

- ・令和7年度予定：約2.0ha
(補助見込額 200万円)

